

【オリコンサル、都と情報伝達訓練・勉強会 特養施設の避難計画策定を支援】



## 特養施設の避難 計画策定を支援

オリコンサル、都と  
情報伝達訓練・勉強会

オリエンタルコンサルタ  
ンツが東京都らと共同で、  
奥多摩町の特別養護老人施  
設で災害情報の伝達訓練を  
9月25日に行った。土砂災

害や河川水位をモニタリン  
グするオリコンサル独自の  
システムを活用。避難行動  
の判断基準や避難誘導を発  
信する情報を特養施設の管  
理者や住民に提供した。自  
然災害が多発する中、同社  
は高齢者を含む災害弱者の  
保護を目指し、避難確保計  
画の策定支援などに注力す  
る。

災害情報の伝達訓練は、  
オリコンサルと東京都建設  
局、奥多摩町、特養施設の  
「グリーンウッド奥多摩」  
が実施。ユニバーサルデザ  
インを取り入れた設備や製  
品を開発するミライロ（大  
阪市淀川区、垣内俊哉社長）  
の協力を得て、避難行動が  
迅速にできたかを確認し  
た。

訓練には同社が提供する

土砂災害警戒情報支援シス  
テムに加え、人工知能（A  
I）を搭載した水位監視カ  
メラを使用した。土砂災害  
を想定し、車いす利用者の  
避難経路・方法などを検討。  
災害状況を行政機関に報告  
する訓練も行った。同5日  
にはグリーンウッド奥多摩  
で避難行動計画の策定に向  
け、関係者との勉強会も開  
いた。写真。

2017年に改正された  
土砂災害防止法は、特養ホ  
ームを含む要配慮者利用施  
設の避難確保計画を策定し  
たり、避難訓練を実施した  
りすることを義務付けてい  
る。奥多摩町にはグリーン  
ウッド奥多摩を含め13の特  
養施設があり、避難確保計  
画の策定と避難訓練の実施  
が求められている。